

第1回 柏原市庁舎建設事業者選定委員会 議事録

日時	平成30年7月12日（木）午前10時00分から
場所	柏原市別館3階フローラルセンター
出席者	中丁卓也 委員（日本公認会計士協会近畿会会員） 向井洋一 委員（神戸大学大学院准教授） 山口健太郎 委員（近畿大学教授） 松井久尚 委員（副市長） 脇田直行 委員（総務部長） 市川信行 委員（政策推進部長） 山口智弘 委員（総合政策監） 福井浩 委員（財務部長） 森本貞男 委員（都市デザイン部長）
事務局	柏原市 総務部 庁舎整備室
次第	1 委員長選出について 2 委員会の公表について 3 柏原市庁舎施設整備事業設計・施工一括発注プロポーザル実施要項（案）について 4 柏原市庁舎施設整備事業要求水準書（案）について 5 第2回委員会の日程について

委員会の内容

1. 委員長選出について

選定委員会規則委員により委員長を互選により選出する。外部委員の発言機会を確保するため内部委員から委員長を選出し、松井委員を委員長に決定した。

2. 委員会の公開について

事業者提案への影響及び委員と事業者の関係の透明性を図るため、プロポーザル実施期間中は委

員会を非公開とすることに決定した。

3. 柏原市庁舎施設整備事業設計・施工一括発注プロポーザル実施要項（案）について

事務局から「柏原市庁舎施設整備事業設計・施工一括発注プロポーザル実施要項（案）」の説明があり、委員会で同資料の記載内容を確認した。

【委員会での意見】

- ①委員名は非公開とされているため、参加者は委員が誰かわからないまま審査が進められる。
後に委員と参加者の関係性に関する資格要件への抵触が判明した場合、失格となるのか。
- ②二次評価の評価項目の点数配分を全て同じするのではなく、市の構想に沿った提案を評価できるよう、項目により評価点の配分を変える方がよいのではないか。
- ③財務状況の評価に使用する提出書類などに記載項目がない。
- ④財政的な評価について流動比率や決算状況以外にも評価項目を検討してはどうか。
- ⑤今回は価格評価の割合が低く、技術評価点数の差により逆転することがあり得る。技術提案に自由な提案を期待する場合、価格評価の割合を低くすることもある。
- ⑥ひとつの提案項目に対して記載すべき項目が複数ある場合、項目がひとつでも漏れていた時は、評価対象外とするのか。

【委員会での決定事項】

- ①失格として取り扱う。
- ②評価項目の重要度を検討し、修正する。
- ③申請様式に、財務に関する数値を記載する枠を設ける。
- ④流動比率と過去 3 年間の決算状況について評価することを考えているが、その他の評価項目について検討する。
- ⑤柏原市における標準的な価格評価割合を考慮し、②の意見も踏まえ、技術提案を重視した割合設定となるよう再度検討する。

⑥評価対象外とはせず、内容を総合的に評価する方法であったが、記載すべき項目が漏れないよう工夫する。

4. 柏原市庁舎施設整備事業要求水準書（案）について

事務局から柏原市庁舎施設整備事業要求水準書（案）の説明があり、委員会で同資料の記載内容を確認した。

【委員会での意見】

- ①各室の人当たりの面積にばらつきがある。将来の部署再編を見込んで、統一性を持たせてはどうか。
- ②各室の要求水準における共通事項は、一般執務室の共通事項として取りまとめる方が良い。
- ③書庫等が特記された執務室があるが、共通事項にも書庫等が記載されている。まとめて記載できないのか。
- ④備蓄倉庫が少ないと感じる。
- ⑤防災性の項目に記載している耐風、耐雪の要求水準は一般的な内容であり、要求水準として特記する必要があるのか。技術提案につながるよう、市が重要視している部分を示すべきと考える。

【委員会での決定事項】

- ①パソコンや通信機器等の専用設備を設ける部署があり、統一的な基準を設定出来ない。設計者提案を受けて対応する。
- ②共通事項を整理する。
- ③特記の書庫等は、その執務室において業務上必要となる特殊な書庫を記載する。
- ④新庁舎では災害対策本部員19名の初期活動から3日分の備蓄倉庫及び災害対策用収納庫として使用可能な外部倉庫を設置する。
- ⑤記載内容を精査する。

5. 第2回委員会の日程について

第2回委員会は平成30年8月9日（木）午前10時からとする。